

2019年8月6日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社  
 コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 IR広報部長 (氏名) 古田 純

TEL 03-3273-3917

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	298,935	0.9	20,636	4.4	22,374	10.2	14,500	15.2
2019年3月期第1四半期	296,394	1.6	19,774	19.0	20,311	19.3	17,090	0.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 12,430百万円 (32.4%) 2019年3月期第1四半期 18,398百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	99.98	
2019年3月期第1四半期	117.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	1,006,341	561,435	52.5	3,645.11
2019年3月期	1,004,143	560,630	52.5	3,635.79

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 528,659百万円 2019年3月期 527,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		65.00		75.00	140.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		70.00		70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	625,000	2.1	44,000	0.4	45,000	2.6	28,500	25.6	196.51
通期	1,309,000	4.4	108,000	9.8	109,000	9.3	67,500	9.1	465.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、[添付資料]11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	152,683,400 株	2019年3月期	152,683,400 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	7,651,119 株	2019年3月期	7,650,137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	145,032,588 株	2019年3月期1Q	145,001,668 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は決算短信に添付しTDnetで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

(アナリスト・機関投資家向け電話会議資料の入手方法について)

当社は、2019年8月6日(火)にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議におけるプレゼンテーション資料および音声情報は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「2020中期経営計画」の2年目を迎え、基本コンセプト「継続的戦略課題への取り組み」と「成長に向けた新たな挑戦」に基づき、「コア事業での高シェア・高収益の実現」「海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大」「健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け」「構造改革の継続的な実行と個別事業課題の克服」「経営基盤の進化とCSRの推進」に向けた取り組みを進めております。

2020年3月期は、食品セグメントでは個人消費動向が不安視され、医薬品セグメントでも2019年10月および2020年4月に薬価改定が予定されるなど厳しい環境下ではありますが、両セグメントともにコア領域・成長領域に経営資源を重点的に投下することで着実に計画を推進しています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,989億35百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は206億36百万円（同4.4%増）、経常利益は223億74百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は145億円（同15.2%減）となりました。

（単位：億円）

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期	
			増減額	主な増減要因
売上高	2,963	2,989	25	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	197	206	8	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	11	24	12	受取保険金+12
営業外費用	6	6	0	—
経常利益	203	223	20	—
特別利益	50	5	△44	固定資産売却益△44
特別損失	9	10	1	固定資産廃棄損+4、関係会社事業損失△2
税金等調整前 四半期純利益	244	218	△25	—
法人税等	71	75	4	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	2	△1	△4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	170	145	△25	—

セグメント別の概況は次のとおりです。

①食品セグメント

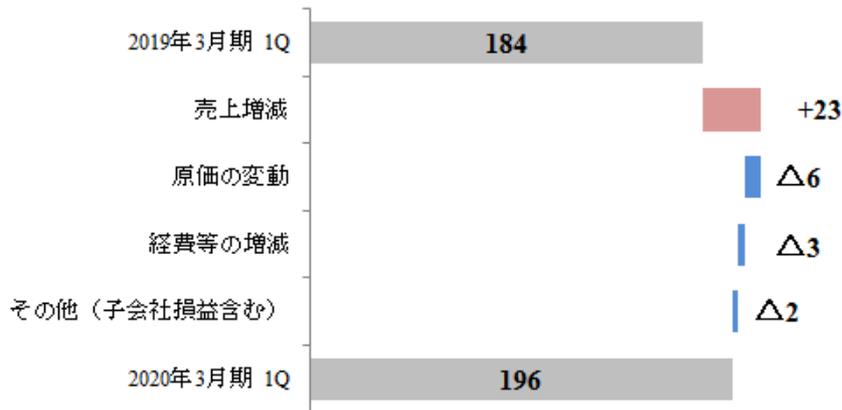
- ・売上高は前年同期並みとなりました。菓子事業、栄養事業、海外事業は前年同期を上回り、加工食品事業は前年同期並みとなりました。発酵デイリー事業は、プロバイオティクスやヨーグルトの減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、チョコレートや粉ミルクの増収のほか、価格改定の影響により前年同期を上回りました。

(単位：億円)

		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
食 品	売 上 高	2,586	2,590	0.2%
	営 業 利 益	184	196	6.6%

営業利益増減分析

(単位：億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売 上 高				営 業 利 益			
	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
発 酵 デ ィ リ ー	830	811	△2.3%	発 酵 デ ィ リ ー	113	104	△8.1%
加 工 食 品	440	441	0.2%	加 工 食 品	16	18	11.5%
菓 子	248	267	7.3%	菓 子	31	40	27.7%
栄 養	216	225	3.9%	栄 養	31	41	34.5%
海 外	99	110	11.6%	海 外	△0	2	—
その他 国内子会社	750	734	△2.2%	その他 国内子会社	12	8	△30.9%
				全社共通費	△21	△20	—

【発酵デューリー事業】 (ヨーグルト、牛乳類、飲料等)

- ・売上高は、「ザバスミルクプロテイン」シリーズはラインアップの強化により大幅に伸長しましたが、プロバイオティクスやヨーグルトが減収となった結果、前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、プロバイオティクスの減収や原材料コストの増加により前年同期を下回りました。

【加工食品事業】 (チーズ、バター・マーガリン、クリーム、アイスクリーム、冷凍食品等)

- ・売上高は、「明治エッセルスーパーカップ」や「明治北海道十勝チーズ」シリーズは好調に推移しましたが、全体では前年同期並みとなりました。
- ・営業利益は、2019年3月より実施したアイスクリームの価格改定の影響などにより前年同期を大幅に上回りました。

【菓子事業】 (チョコレート、グミ、ガム等)

- ・売上高は、「チョコレート効果」や「きのこの山・たけのこの里」シリーズが好調に推移したことにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、「チョコレート効果」等の増収により前年同期を大幅に上回りました。

【栄養事業】 (スポーツ栄養、粉ミルク、流動食、美容、OTC等)

- ・売上高は、粉ミルクが好調に推移したほか、流動食「明治メイバランス」シリーズの増収などにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、増収の影響や販促費等の削減により前年同期を大幅に上回りました。

【海外事業】 (海外子会社、輸出)

- ・売上高は、輸出では主力のナッツチョコ等が好調に推移し、海外子会社では中国子会社が売上高を大きく伸ばさせたことから前年同期を大幅に上回りました。
- ・営業利益は、中国子会社の大幅な増収により前年同期を上回りました。

【その他国内子会社】 (飼料、畜産品、砂糖および糖化穀粉、運送等)

- ・売上高は、物流子会社や砂糖商社等の減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、物流子会社や飼料子会社等の減益により前年同期を大幅に下回りました。

②医薬品セグメント

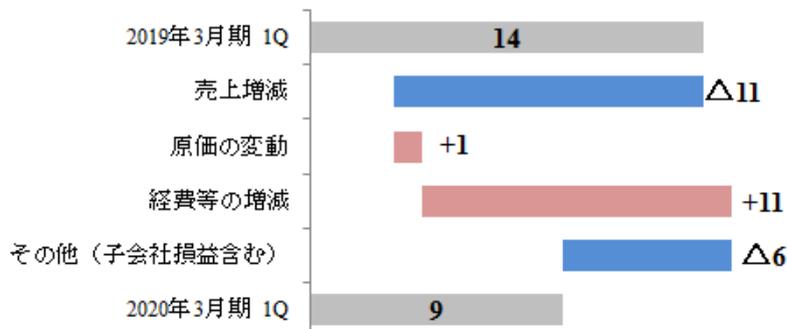
- ・売上高は、海外子会社の増収や、前年度第2四半期から連結したKMバイオロジクスの実績が第1四半期を通じて寄与したことにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、KMバイオロジクスの営業損失により前年同期を大幅に下回りました。

(単位：億円)

		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
医薬品	売上高	378	400	5.8%
	営業利益	14	9	△34.3%

営業利益増減分析

(単位：億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売上高				営業利益			
	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前期 増減率		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前期 増減率
国内	276	264	△4.2%	国内	12	13	5.3%
海外	102	114	11.7%	海外	2	9	384.8%
KMバイオ ロジクス	—	40	—	KMバイオ ロジクス	—	△15	—
消去	—	△18	—	修正・消去	—	1	—

【国内事業】

- ・売上高は、統合失調症治療薬「シクレスト」や抗菌薬「タゾピペ静注用明治」が大幅に伸長したものの、抗うつ薬「リフレックス」が特許切れの影響で大幅な減収となり、全体では前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、「リフレックス」の減収の影響がありましたが、研究開発費や普及費などの減少により前年同期を上回りました。

【海外事業】

- ・売上高は、インドや中国の子会社が好調に推移し、前年同期を大幅に上回りました。
- ・営業利益は、各子会社の増収や、インド子会社ののれん償却費の減少により前年同期を大幅に上回りました。

【KMバイオロジクス】

- ・売上高は、4種混合ワクチン「クアトロバック」やB型肝炎ワクチン「ビームゲン」が順調に推移しました。
- ・営業利益は、季節要因により損失を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期 第1四半期	対前期末	
			増減額	主な増減要因
流動資産	4,214	4,208	△6	受取手形及び売掛金△79、 商品及び製品+59、現金及び預金+6
固定資産	5,826	5,855	28	建物及び構築物(純額)+67、 建設仮勘定+9、投資有価証券△41
資産合計	10,041	10,063	21	—
流動負債	2,915	2,973	58	コマーシャル・ペーパー+180、 短期借入金+104、未払法人税等△133、 未払費用△58、賞与引当金△51
固定負債	1,520	1,475	△44	長期借入金△36
負債合計	4,435	4,449	13	—
株主資本	5,075	5,108	32	利益剰余金+32
その他の包括利益 累計額	197	178	△18	その他有価証券評価差額金△25、 退職給付に係る調整累計額+5
非支配株主持分	333	327	△5	—
純資産合計	5,606	5,614	8	—
負債純資産合計	10,041	10,063	21	—
有利子負債	1,163	1,412	248	コマーシャル・ペーパー+180
自己資本比率	52.5%	52.5%	—	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,356	26,035
受取手形及び売掛金	202,193	194,243
商品及び製品	105,757	111,675
仕掛品	4,578	4,526
原材料及び貯蔵品	55,589	55,487
その他	28,149	29,046
貸倒引当金	△176	△188
流動資産合計	421,447	420,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	334,729	341,752
減価償却累計額	△169,035	△169,354
建物及び構築物 (純額)	165,693	172,397
機械装置及び運搬具	533,595	532,967
減価償却累計額	△381,789	△382,282
機械装置及び運搬具 (純額)	151,806	150,685
工具、器具及び備品	54,826	55,276
減価償却累計額	△42,237	△42,320
工具、器具及び備品 (純額)	12,589	12,956
土地	70,765	70,606
リース資産	2,891	2,907
減価償却累計額	△2,243	△2,272
リース資産 (純額)	648	635
建設仮勘定	31,988	32,935
有形固定資産合計	433,491	440,216
無形固定資産		
のれん	73	69
その他	13,480	13,412
無形固定資産合計	13,553	13,481
投資その他の資産		
投資有価証券	93,504	89,373
退職給付に係る資産	20,274	20,633
繰延税金資産	14,409	14,422
その他	7,557	7,481
貸倒引当金	△94	△95
投資その他の資産合計	135,651	131,816
固定資産合計	582,696	585,515
資産合計	1,004,143	1,006,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,479	121,048
短期借入金	33,597	44,060
コマーシャル・ペーパー	-	18,000
未払費用	46,286	40,433
未払法人税等	21,023	7,678
賞与引当金	11,895	6,763
返品調整引当金	757	273
売上割戻引当金	2,443	1,765
その他	50,021	57,355
流動負債合計	291,504	297,377
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	62,788	59,179
繰延税金負債	10,650	9,152
退職給付に係る負債	53,830	54,021
役員退職慰労引当金	106	111
その他	4,632	5,065
固定負債合計	152,008	147,529
負債合計	443,512	444,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	100,061	100,061
利益剰余金	407,943	411,198
自己株式	△30,422	△30,430
株主資本合計	507,582	510,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,261	30,738
繰延ヘッジ損益	3	△15
為替換算調整勘定	△1,751	△1,679
退職給付に係る調整累計額	△11,785	△11,213
その他の包括利益累計額合計	19,728	17,829
非支配株主持分	33,320	32,775
純資産合計	560,630	561,435
負債純資産合計	1,004,143	1,006,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	296,394	298,935
売上原価	191,814	189,937
売上総利益	104,580	108,998
販売費及び一般管理費	84,805	88,361
営業利益	19,774	20,636
営業外収益		
受取利息	31	51
受取配当金	603	674
持分法による投資利益	189	-
受取保険金	-	1,207
その他	341	489
営業外収益合計	1,166	2,421
営業外費用		
支払利息	165	202
持分法による投資損失	-	98
為替差損	256	104
その他	205	278
営業外費用合計	628	683
経常利益	20,311	22,374
特別利益		
固定資産売却益	5,002	532
その他	10	0
特別利益合計	5,013	532
特別損失		
固定資産廃棄損	496	923
関係会社事業損失	282	-
その他	127	93
特別損失合計	905	1,016
税金等調整前四半期純利益	24,419	21,890
法人税等	7,105	7,569
四半期純利益	17,313	14,321
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	223	△179
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,090	14,500

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	17,313	14,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,251	△2,530
繰延ヘッジ損益	90	△19
為替換算調整勘定	△1,356	83
退職給付に係る調整額	513	564
持分法適用会社に対する持分相当額	△414	10
その他の包括利益合計	1,084	△1,890
四半期包括利益	18,398	12,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,227	12,602
非支配株主に係る四半期包括利益	171	△171

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	258,597	37,796	296,394	-	296,394
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	88	61	149	△149	-
計	258,685	37,858	296,543	△149	296,394
セグメント利益	18,470	1,486	19,957	△183	19,774

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△183百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△193百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	258,972	39,963	298,935	-	298,935
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	121	73	195	△195	-
計	259,094	40,036	299,131	△195	298,935
セグメント利益	19,682	977	20,659	△23	20,636

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△23百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△30百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。